

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	2	・配置数は適切かもしれないが、職員の勤務歴のバランスが悪かった ・離職のため必要数にない
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3	・活動スペースとそうでない場所のすみわけがあいまい ・利用者様の特徴として大きなバリアフリー化はなされていないが、その他に関しては適切だと感じる
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	・建物の老朽化が心配だが、現在利用者様の不利益になるケースは職員の努力で防げている ・定期的な消毒・安全管理は徹底されている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	・職員の補填などを他事業所との統合化で対応したり、定期的な全体エリアミーティングで見直されてきたが、今後も努力は必要 ・PDCAの試みが少なく、参画している人も一部に限られる ・常に職員同士でのミーティング・フィードバックはなされている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・特別支援計画の開示など、極力保護者様のニーズに応じる努力はしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	・現在は個人的な努力で賄われている ・十分でない、ほとんど研修がない
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		・今年度、家族支援に対してのアプローチを開始した ・地域支援は未開拓な分野のため、今後は必要に応じて情報提供などできるとよい
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	・より積極的なミーティング機会が必要
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・スーパーバイザーが都度更新しているので固定されず、新しいプログラムになっている ・担当者以外にも、スーパーバイザー自らが定期的にセラピーにはいり、プログラムを組んでいる
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		・個々に応じて、個別がメインでも定期的にグループの時間を実施している
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	・連絡ノートを活用して共有をはかっている ・全体に関係する一日の動き等は朝礼で共有している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	・連絡ノートなどを活用して、共有をはかっている ・全体に関係する一日の動き等は終礼で共有している ・複数の職員でセラピーに入った際には振り返りや気づいたことの共有を常に行っている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・常に担当者が記録をとり、共有している
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・モニタリングのため、相談支援事業所の担当者様から聞き取りに応じている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・関係する園からの相談に応じる程度であるが行っている
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	・卒所予定の利用者を対象に、引き継ぎ書を作成している
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	・助言・研修はない
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	・地域への支援の話は聞かないので行えばよいと思う ・現場レベルでは行っていない
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	7		・スーパーバイズのタイミングで報告相談を受けている また、日々のセラピーのフィードバック時にも設けている ・毎回セラピーの最後には必ず保護者様とのフィードバックが設けられている
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	7		・今年度より開始した
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・毎時間の保護者様とのフィードバックに加え定期的にスーパーバイザーとの面談が行われている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	・個々での関わりはよいが、保護者同士の支援は余りないので支援があるとよりよくなると思う
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・現状は具体的なケースがない
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3	・定期的なものはない ・不定期ではあるが、何か連絡事項がある度に迅速に発信している
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	・災害についてはあるが、そのほかはマニュアル化としてない
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和 2 年 3 月 24 日

事業所名： 発達療育 レンテ市川第二

保護者等数 (児童数)

19家庭

回収数 15

割合 78.9 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14			1	・広くて過ごしやすい ・もう少し広いとよいと思うが、現実的に厳しいと思う
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	4		1	・スタッフの入れ替わりが激しく、 個人の専門性にばらつきがある
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	2		1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				・建物が古いのは知っていたので少し心配だったが清潔感があって安心した
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	14	1			・集団を指導してほしいと言っているが意見が通らない ・それぞれに合わせた計画をたてていただいてありがたいです
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	2		1	・その日の療育の目標ややるうとしていた内容はどんな計画でまたそれが達成できたのかななどを教えていただけるといいなと感じる ・1か月ごとくらいにどれくらい達成しているかなど教えてもらえると成長がわかりやすい
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7	5		3	・活動のプログラムが固定化されていると感じる時もあるがたまに変化があると思う時もある
	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	1			

保護者への説明等	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	8	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスや相談は対応してもらっているが、まだペアトレとしては不十分に思う ・ホームワークがでて提出しているがフィードバックがコンスタントでない ・3週間くらいあいて放置されていてなかなか進まないで、子どもにまったく還元できない ・業務が責任者だけに偏っているなどが原因ならば、他に対策するとよいと思う
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ何ともいえないかなあと思う
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	3		1	
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別なので必要性は感じない ・個人間でのやりとりはあります ・保護者同士は挨拶する程度なので深いおつきあいはない ・以前は度々あって助かっていたが最近減っている
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席を事前に伝えているのにも関わらず当日連絡があることが多々あり ・スタッフで情報共有してほしい ・事務職員がいない時は誰に事務的なことをきいていいのかちょっと声をかけにくい
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		1	
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・会報でいろいろな情報を発信してもらえたらよりうれしいです。 ・あまりホームページをチェックしていません
18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	1		1		
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策、生活習慣として教育に着いた時（帰るとき）に手洗いをとりいれてもらえるとうれしいです
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2		1	
	21	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しんで通っていると思います ・いつも温かく接していただきありがとうございます ・まだ少し緊張している感じがあります ・疲れもあるのが行きたがらないことが結構あるが、お友達と遊ぶのは楽しみにしている ・唯一の楽しみです

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">親 民 政</p>	<p>22 事業所の支援に満足しているか</p>	<p>12</p>	<p>2</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数か月で子どもの成長を感じており感謝しています ・フィードバックの時間に何を話したらいいのかわからない ・以前は非常によかったがスタッフの入れ替わりが 激しいのが気になる 大人は他事業所の方からきているとわかってても子どもにはわからないし 1 から信頼関係を構築する時間ももたないと思う 以前より30分減らしてスタッフのスキルアップにあてると説明を受けたが 使われているように思えない。スキルアップにつかわないなら元の2時間に戻してほしい ・皆さんに温かく接していただいています ・レンテのような事業所がもっと増えてほしいで
--	--------------------------	-----------	----------	----------	--

職員による自己評価

A環境面

- ・事業所間の職員のバランスが悪い
- ・退職者による職員の入れ替わりはネガティブな側面もあるが様々なセラピーを受けられるポジティブな面もある
- ・消毒や安全は徹底されている

B児童への支援内容

- ・なるべく固定にならないように支援内容も適宜更新されている
- ・地域支援は今後必要に応じて実施していけるとよい
- ・フィードバック時保護者の方に伝わる範囲でもっと課題や専門的なことも伝えられるように努める
- ・なるべく固定にはならないように実施
- ・セラピーごとに記録を取り情報共有を行っている
- ・朝礼や終礼にて情報共有を行っている
- ・より計画性をもってお子さんの支援にあたる必要がある

C関係機関との連携

- ・契約終了時には引き継ぎ書の作成を行っている。必要に応じて関係機関と担当者会議なども行っている
- ・関係機関との連携について全スタッフへより周知していく必要がある
- ・特別支援計画の開示を行っている
- ・関係機関との連携の頻度を今後あげていく

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・フィードバックに加え、SVとの面談を行っている
- ・保護者同士の連携を促進するため必要性を感じる
- ・保護者の方のお話はどんな情報でもより共有できるよう努める
- ・事務的対応に関してはセラピー担当者も対応する

E非常対応

- ・災害以外の研修も取り入れる
- ・週ごとに施設内の安全チェックを利用している

保護者による評価

A環境面

- ・職員の入れ替わりが激しい
- ・職員の専門性にばらつきがあるように見受けられる

B児童への支援内容

- ・支援計画の内容に沿って行われている
- ・毎回のセラピーでの目標や1か月ごとの達成度をしりたい
- ・集団指導の希望が通らない
- ・ペアレントトレーニングの内容をもっと充実させてほしい
- ・セッション時間を2時間に戻してほしい

C事業所からの情報発信

- ・会報など定期的に情報発信するツールがほしい
- ・事務的対応を行える環境を整える

D非常対応

- ・定期的に避難訓練は実施されている
- ・感染症対策・生活習慣として手洗いを導入してほしい



事業所内での分析

【共通点】

- ・充実した支援ができています
- ・職員の入れ替わりが続き、不安定な中でのサービス提供になってしまった
- ・環境面においては清潔感があり、過ごしやすい空間を提供できている
- ・ペアレントトレーニングのやり方を確立し、提供していく

【相違点】

- ・フィードバック時に伝えている情報と知りたい情報にずれが生じている

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・温かい空間を提供できており、お子さんが楽しみに通所し保護者も安心して預けてくださっている
- ・安全管理・清潔の維持ができています
- ・毎回のセッションでその日の様子をお伝えできている。SV時にはご家庭や園の様子について密に話している。
- ・月に1回程度SVを実施し、定期的なプログラムの更新を行うことができています
- ・応用行動分析に基づく、発達段階に応じた支援をする
- ・保育所等訪問の導入により、連携が密にとれるようになる

事業所の改善点

- ・職員の離職・育休・産休等に備えた体制作りをする
- ・スキルの向上を図る
- ・ペアレントトレーニングの枠組みを精査し、ご家庭に還元する
- ・事務の伝達事項の在り方の見直しをする
- ・フィードバック時の話の内容の見直しをする

事業所の改善への取り組み

・事務関係

→事務的な仕事を改善する

・ペアレントトレーニング関係

→ペアレントトレーニングの見直し及び検討

・スキルアップ関係

→定期的にスキルアップ研修を行う

・単一意見

→よりミーティングの機会を増やし、密に支援に還元していけるように努める

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・全体的な満足度を継続しつつ、一部声が上がった事案について解消し、満足していただけるようにスキルアップを図り努めていきたい

事業所名 発達療育 レンテ市川第二

担当者 渡辺 大輔